

Turin's Tea Time



テュリンのティータイム

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。紅茶を飲みながら花見を楽しむ時期です。

さて、今回のテーマは「スーパーマーケット（以下、スーパー）」です。このテーマは、2月に父と姉が日本に来たことがきっかけで選びました。父は5回目の来日ですが、初めて日本に来た姉は、スーパーに驚いていました。私は慣れていますが、姉の様子を見てみると「スーパーって面白いな」と感じるようになりました。



▲札幌で合流し、雪景色を楽しみました。左は父、右は私です

ここでは、日本や外国のスーパーのことを話します。

今日から使える

ひとこと英会話

Lesson17

自分の好みでないことを伝えるときに一言

"It's not my cup of tea"

読み方 「イツ ノット マイ カップ オブ ティー」

意味 「私の好みではありません」

左「オペラはどう思いますか」

右「私の好みではありません」

和訳は「私の紅茶のコップではない」という変わったフレーズです。紅茶は自分の好きな甘さで飲むことから「自分のコップではない=好きな味付けではない」と訳し、好みではないという意味で使います。



世界のスーパーマーケット

国によって違いがある「スーパー」

日本だけではなく、どこの国でも面白いスーパー。普段、スーパーを「文化」として考えることはありませんが、外国のスーパーで買い物などの日常生活を経験すると、多くの文化を学べると思います。どんな商品があるのかを見たり、自分の国のスーパーと比べたりするのは意外と楽しいです。

例えば、日本のスーパーでは、オーストラリアで見られないきれいな弁当や和食のおかずが並んでいます。オーストラリアのスーパーでは「デリ」というカウンターに、いろいろな肉やチーズ、イタリアやギリシャ風のおかずが並んでいます。



▲洋食の惣菜がずらりと並ぶ「デリ」

オーストラリア人は魚を専門店で買うことが多い

魚類のコーナーは、日本のスーパーの方がオーストラリアに比べてとても広いです。魚の種類がびっくりするほど多く、見たことのない魚もたくさん並んでいます。オーストラリアのスーパーでは魚の種類が少なく、魚を置かないスーパーも珍しくありません。これは、魚の人気のないのではなく、多くのオーストラリア人

が専門店で魚を買うからです。

シリアルは専用の通路があるほど多い

シリアルはその逆です。日本では朝ごはんとして人気がないので種類が少なく、スーパーのシリアルコーナーの棚はだいたい1メートル以下です。しか



▲朝食の定番「シリアル」。種類が豊富で飽きることなく食べられます

し、オーストラリアのスーパーは、棚だけではなくシリアル専用の通路があります。いろいろなブランドや味、材料があり種類がとても多いので、日本人はきっとびっくりすると思います。

スーパーは各国の文化を学べる最高の場所

日本のスーパーで姉が一番驚いていたのは、くだものコーナーでした。300円以上のメロンは、オーストラリアではありえないことです。

このようにスーパーは、自分の国と比べながら外国の文化を学べる場所です。海外に行ったら、皆さんもスーパーに行ってみてください。きっと面白い発見があり、とてもよい勉強になるでしょう。

※ページ内のイラストは、テュリンが描いています